



ほんなこて **ゆたたり**

文責 校長 平井 敏博

【令和6年度学校教育目標】
大人も子どもも、目指すは“とことん学び続け、とことん学び合う人”
～生涯学びの基礎づくり～

すべての体験を “お宝” に

～2学期もお世話になりました。～

8月26日(月)から始まった2学期も、12月24日(火)まで残すところ2日となりました。行事や日々の授業、その他の学校生活を通して、子ども達の“成長”、“伸び”、“変容”をたくさん見ることができました。



学校行事は、みんなと力を合わせてやり遂げる体験の場であり、かつ、自分個人の持っている力を披露する場でもあります。このような場が得意な人もいれば、苦手な人もいるでしょう。とても価値ある場であることには変わりありません。苦手なことにも前向きにチャレンジできた人を大いに賞賛したいと思います。すごいことです。得意な人が、さらに新たなめあてを意識してがんばっている姿もすばらしいです。これからも、その姿勢を続けて下さい。



日々の授業で、自分で黙々とがんばることや友達と知恵を出し合ったり協働したりすることは、とても大事です。間違いなく力をつけていきます。通知表を見て、2学期にがんばったことや3学期にがんばることを、一人一人しっかりと確認してほしいと思います。



昼休み、鉄棒技を何度もやっている人がいます。“腕立て後ろ回り”や“腕立て前回り”等、見事です。それを見て、その技に挑戦している人もいます。

一方、学級でドッジボールをやっている学級があります。“みんなで遊ぶ日”を決めてやっている学級もあるようです。時々、トラブルが発生することもあります。貴重な“学びの機会”になります。

学校生活では、なんやかんやあっています。喜怒哀楽のオンパレードです。思い通りに行ったり行かなかったりします。褒められることもあれば、叱られることもあります。すべては、子ども達それぞれの“お宝”にしてほしいと取り組んでいます。

朝、靴のかかとを踏みつぶしてくる人がいます。ポケットに手を入れて登校する人がいます。「靴はちゃんと履こう。」「ポケットから手を出そう。寒い時は手袋をしよう。」と言います。反応も様々です。こちらの勉強になります。

ひっきやで子育て精神で、お互いに積極的な情報共有、意見交換をして3学期もいっしょにがんばりましょう。気になること等、遠慮なく教えて下さい。

インフルエンザ流行の兆し ～感染症対策のリアル学び～

新型コロナ以降、学校はいろいろな感染症に影響を受け続けています。後ろ向きにもなりがちです。しかし、これも大事な感染症対策の機会として、できることをしっかりやっていきます。学校では全員マスク着用で、換気、手洗いと呼び掛けています。症状が出た場合は、受診と養生をよろしくお願いいたします。